

暴風雪対策

暴風雪の被害に遭わないために

暴風雪による被害は晴天から急に風雪が強まる天候の変化が起きたときに多く発生しています。

暴風雪が予想されているときは、無理をせずに家で過ごすなど外出を避けましょう。

「外出しないこと」が身の安全を守るための最善の対策です。

外出しているときに悪天が予想されていると知ったときは、今の天気が良くても油断することなく、最新の気象情報や道路情報などを事前に十分確認しましょう。

気象台から「数年に一度の猛ふぶき」、「外出は控えてください」といった情報が発表されたら、厳重に警戒してください。

車で外出するときに気をつけること

- 1 携帯電話を忘れずに所持しましょう。
- 2 万が一に備えて、飲料水や非常食を用意しましょう。
- 3 やむを得ず外出をしなければならない場合には、道路状況に応じた無理のない運転を心がけましょう。
- 4 立ち往生する可能性もあるので、防寒着・長靴・手袋・スコップ・けん引ロープなどを車に用意するとともに、燃料を確認しておきましょう。
- 5 運転をしていて、地吹雪などにより身の危険を感じたら、道の駐車場・コンビニエンスストア・ガソリンスタンドなどで天候の回復を待ちましょう。
- 6 大雪や吹きだまりなどで車が立ち往生したときは、JAFなどのロードサービスや近くの人家などに必ず救助を依頼して

ください。また、ハザードランプの点灯や停止表示板を置くなど、車が目立つようにしてください。

- 7 避難できる場所や近くに人家がない場合は、消防（119番）や警察（110番）に連絡して、車の中で救助に備えてください。
- 8 車が雪に埋まったときは、エンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。車には防寒着や毛布等を備えておきエンジン停止時に暖をとるようにしてください。
- 9 車が雪に埋まったときに防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは、窓を開けて換気し、こまめにマフラーまわりを除雪してください。

車の常備品（吹きだまりから脱出するため・車内で保温のために必要な主なもの）

防寒着（上下）	ブースターケーブル	マスク	食料・飲料水
長靴・手袋	スノーヘルパー（脱出板）	スコップ	携帯ラジオ （ライト付き・携帯の充電ができる・手回しで充電できる）
ヘッドライト	毛布	カイロ（使い捨てカイロ）	
けん引ロープ	帽子	寝袋・毛布	

交通情報（通行止めの情報、気象状況が把握できます）

北海道地区道路情報

<https://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/RoadInfo/index.htm>



北海道の道路情報総合案内サイト北の道ナビ

<http://northern-road.jp/navi/>



家の中で安全に過ごすために

家の中でも暴風雪から身を守るための対策が必要です。特に停電時の備えは

- 1 停電に備えて懐中電灯・携帯ラジオ・防寒具・ポータブルストーブ等を準備しておきましょう。ポータブルストーブやカセットコンロを使う時は換気を良くして使用しましょう。
- 2 暴風雪による道路の通行止めで外出できない場合に備えて、食料や飲料水、日用品、日ごろから服用している薬など、万が一のために備えておきましょう。
- 3 FF式暖房機などを使用している場合、給排気口が雪でふさがれると一酸化炭素中毒を起こすおそれがありますので、定期的に給排気口が雪でふさがれていないか確認してください。

家の常備品（停電への備え）

食料・飲料水	防寒着（上下）	携帯ラジオ （ライト付き・携帯の充電ができる・手回しで充電できる）	懐中電灯	ポータブルストーブ （電池式）・灯油	カセットコンロ・カセットボンベ
--------	---------	--------------------------------------	------	-----------------------	-----------------